

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	介護の基本 I		合計時間数	12
到達目標 (授業の目的・ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士制度の沿革、法的な定義 業務範囲 義務等を理解している。</li> <li>・個別ケア、ICF(国際生活機能分類)、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。</li> <li>・介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止 虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守している。</li> </ul>			
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士制度</li> <li>・尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開</li> <li>・介護福祉士の倫理</li> </ul>			
科目の細目名	授業時間数	講義内容		
介護福祉士の制度	4	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護福祉士を取り巻く状況               <ol style="list-style-type: none"> <li>①介護問題の背景と介護福祉士制度</li> <li>②ケアモデルの転換と「求められる介護福祉士像」</li> </ol> </li> <li>2. 社会福祉士及び介護福祉法               <ol style="list-style-type: none"> <li>①法の制定および改正法の成立</li> <li>②法の概要</li> <li>③法に関連する諸規定</li> </ol> </li> </ol>		

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	介護の基本 I	合計時間数	12
到達目標 (授業の目的・ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士制度の沿革、法的な定義 業務範囲 義務等を理解している。</li> <li>・個別ケア、ICF(国際生活機能分類)、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。</li> <li>・介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止 虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守している。</li> </ul>		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士制度</li> <li>・尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開</li> <li>・介護福祉士の倫理</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開	4	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者に合わせた生活支援               <ol style="list-style-type: none"> <li>①介護職として提供すべき専門的な介護サービス</li> <li>②生活支援としての介護サービスの目的</li> </ol> </li> <li>2. 自立に向けた支援               <ol style="list-style-type: none"> <li>①ICFの視点を活かした「生活の再構築」の支援</li> <li>②業務の効率化にとらわれない専門的な介護サービス</li> </ol> </li> <li>3. 介護の専門性               <ol style="list-style-type: none"> <li>①利用者主体の支援姿勢</li> <li>②利用者の生活意欲と潜在能力の活用</li> <li>③チームで発揮される介護サービス</li> <li>④根拠に基づいた介護</li> </ol> </li> </ol>	

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	介護の基本 I	合計時間数	12
到達目標 (授業の目的・ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士制度の沿革、法的な定義 業務範囲 義務等を理解している。</li> <li>・個別ケア、ICF(国際生活機能分類)、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。</li> <li>・介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止 虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守している。</li> </ul>		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士制度</li> <li>・尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開</li> <li>・介護福祉士の倫理</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
介護福祉士の倫理	4	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護福祉士としての倫理の必要性               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 専門職に求められる法的規定</li> <li>② 専門職に求められる行動規範</li> </ol> </li> <li>2. 日本介護福祉士会倫理綱領               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 倫理綱領作成の経緯</li> <li>② 倫理綱領の内容</li> </ol> </li> </ol>	
【使用テキスト】 中央法規出版 「介護職員等 実務者研修テキスト 第2巻		【評価方法】 科目別小テストに対し、A=90点以上、B=80点以上C=70点以上、D=69点以下の4段階にて評価し、C以上を合格とする。	